

Dr.'s REPORT

ドクターズ・レポート

「デジタルNAOMI」をお使いのドクターによる
製品やサービスに関する生レポートです。

今月のレポート医院

紺和動物病院

諸橋一夫先生 (新潟県)



先生が手にしているのはオトCCDスコープ「ME-16」。耳疥癬等の診断・撮影に使用している。[K]

多忙時でも、「まっ！いいか」が無くなりました。

現場の声が反映された製品。
最高に満足しています。

NAOMIになる以前の旧機種からオールエフ製品を使っていますが、昨年末に最新バージョンのNAOMIを導入しました。現在に至るまでには幾多のバージョンアップがあり、その都度改良点などの提案をしてきましたが、現場の声が反映された今のNAOMIには文句の付けようが無く、最高に満足しています。購入して大正解でした。装置そのものも小型で、パソコンのUSBと電源に接続するだけで作動します。ソフトについても簡単明瞭で使用しやすいものとなっています。

多忙時も、撮影をしない時も、手がかからないのがNAOMIです。

NAOMIの最大のメリットは、必要な時にいつでも十数秒でX線写真が見られること。これに尽きます。飼い主さんを待たせることもなく、その場で直ぐに説明ができます。これまでは、多忙時にX線撮影したいなと思って「まっ！いいか」と撮影しないで回避することも実はありましたが、そういうことも無くなりました。さらに、もし撮影条件が適正ではなかったとしても、マウス操作で簡単に画像補正ができます。当院は田舎町の小規模動物病院で、X線撮影が毎日あるわけでも無く、時には1週間近く使用しないこともあります。しかしこれまでは毎日、自現機スイッチのON/OFFを行い、月に一度の現像・定着液交換等のメンテナンスも必要でした。NAOMIの導入で、こういった煩わしさからは完全に解放されています。

諸橋先生がお使いのオールエフ製品

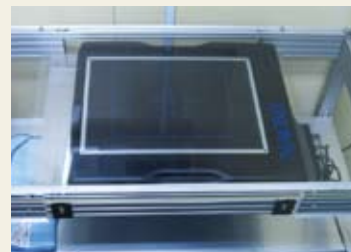
デジタルX線センサー「NAOMI」／小型無線CCDカメラ「PRO5」
オトCCDスコープ「ME-16」／受信機内蔵小型モニター「Galileo」

拡大機能で軽度の亀裂骨折も確実に診断。

以前撮影した画像を呼び出し、現在の状態と並べて画像を表示させることで経時変化の比較観察にも力を発揮し、飼い主さんとのインフォームド・コンセントに役立っています。

それとNAOMIソフトの機能の一つ、「画像拡大」も役立ちます。先日も小型犬の子犬で上腕骨近位端で軽度の亀裂骨折がありましたが、拡大して画像を見ることで診断しやすくなりました。

また、これまでは骨折時にフィルムに写った骨片の長さや太さをメジャーで計測し、直接フィルムに書き込んで手術に臨んでいましたが、マウスで指定するだけで長さや角度を表示してくれ、本当に便利です。普通の飼い主の皆様は、特に声に出して感想をお話することはありませんが、パソコンに強い一部の飼い主様はマウス操作などに見入っては驚嘆の声を上げています。



顕微鏡に取り付けているのは小型無線CCDカメラ「PRO5」。映像をモニターに飛ばし、大きな画面で見せることで飼い主さんとのインフォームド・コンセントに役立っている。[K]



小型無線CCDカメラ
PRO5

オトCCDスコープ
ME-16

<http://www.rfssystemlab.com/product/forddoctor.html>

撮影したサンプル映像はこちらをご覧ください。
(映像提供：紺和動物病院)



[K] PRO5映像
[K] ME-16映像

2008

7

vol.18